賑わえSEE SEA PARK！
DDパークはドローン道場

Ｉ班 京都府立大学 公共政策学部 公共政策学科
窪田好男研究室DXドローン班



京都府立大学 公共政策学部 公共政策学科　３回生
窪田好男研究室DXドローン班　兼　事業化メンバー

メンバー紹介

新家　悠斗	かわらけなげ担当
今西 南ノ葉	かわらけなげ担当
曽和　拓角	トイドローン担当
田代　夕渚	トイドローン担当
則光　那奈	シミュレーター担当
脇　龍志	シミュレーター担当



- 第6回と第8回、本コンテストにて最優秀賞　受賞
- 2023年からSEE SEA パークなどで計13回、
  ドローン操縦体験やドローン遊びを実施



[目的] おおい町をドローンタウンに、
SEE SEA パークをDDパークにする

学園祭でもドローン縁日を実施したりおおい町の特産品を販売したりして、興味を持ってもらえる人を増やしています！

サブテーマ③「持続的な地域社会をつくるためのDX推進ラボ」を選択

都会に負けない町にしたい

今年度の活動実績

5/9
事業化
プレイベント

トイドローン操縦体験、
かわらけ投げ、
クマ対ドローンショー実演

8/19.20
フィールドワーク

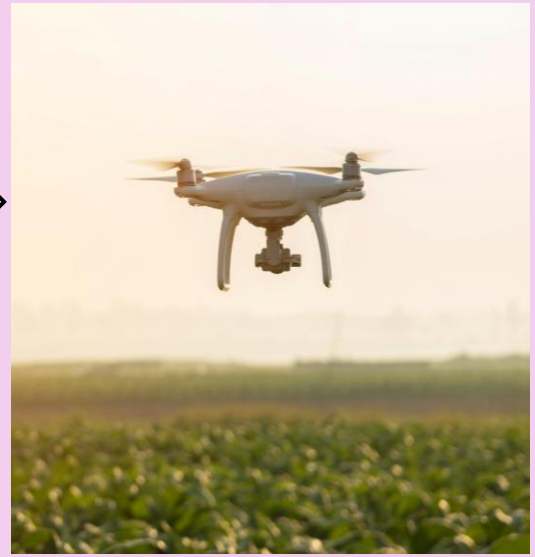
おおい町役場
（町長、まちづくり課、防災課）
SEE SEA PARK、
こども家族館、
うみんぴあ大飯
わかさドローンクラブ

次のスライドで
詳述

10/18
ドローン縁日
（事業化）

トイドローン操縦体験、
シミュレーター、
かわらけ投げ
クマ対ドローンショー
フライトツアー

11/21
事業化報告会



SEE SEA PARK(以下SSP)へのヒアリング

－公共の施設として、民間の施設としての役割の対立－

	公	民
店	集客 ⇔	売上
客	静かな勉強の場所 コワーキングスペース	目的：何をしている施設なのか イオンモールのような看板



（出所）窪田研究室

時期によって来館者数が偏り、閑散期は特に少ないため

持続的な賑わいを求めている

おおい町へのヒアリング



（出所）窪田研究室

- 国もドローンの活用をしており、
  福井県も
  「ふくいそらの道」として、川などの上を
  従来より緩い制限で飛ばせる「ドローン航路」の設定を検討し、
  実証実験も行っている。

選ばれつつある町であり、
都会化にはドローンが不可欠！

参考文献
ドローン航路民間開放　「空の道」福井から発信を ｜ 政治・行政,政治・行政,社会 ｜ 論説 ｜ 福井新聞ONLINE(https://www.fukuishimbun.co.jp/articles/-/2720214#goog_rewarded)

ドローン縁日で得た結果

今までのドローンイベントは 初心者向け のもの

⇔しかし、本研究室のイベントによっても、
十分に普及したと考えられる

そこで、”中級者向け”のドローンを開催！

実際に...

「さらなる高度な操縦体験をしたいですか？」

というアンケートに対し、

トイドローン操縦体験をした29人のうち26人が、
ドローンシミュレーターをした28人のうち26人が

「とてもそう思う」と回答！





調査・分析から得た課題点

１．賑わう時期の偏り

２．初級者向けのドローン

まとめ
調査・分析から得た解決の鍵（ニーズ）

年間を通じた賑わい

中級者向けのドローン

より高度なドローン遊びの”競技”大会を
作ることで、練習するために
継続してSEE SEA PARKに訪れる！

◎とにかく1年中の賑わいを創出すべき！！

そのために....

SEE SEA PARKに
来る意味になる！

- SEE SEA PARKでしかできないものを提供
- 誰でも気軽にできる
- 継続してできる

これらが重要！

より多くの人に
繰り返し来てもらえる！

だから
ドローン道場！！！！！

ドローン道場とは？

① • ドローン競技の開催

② • 普段からSSPで練習できる工夫

③ • SSPのにぎわい創出

①ドローンイベントの開催

3か月に1回
体験コーナー
＋大会を開催

大会ごとに
チャンピオンを
決定

冬には年間
チャンピオン

府立大学生の
協力のもと開催

詳細は次へ

どんなイベント？



◎大会
日ごろの練習の成果が生かされる大会
春夏秋冬で大会を開催
冬には年間総合チャンピオンを決定



◎体験コーナー
普段操作できない大型ドローン
を操縦できる

これらの画像はＡＩで生成しています

大会の具体案

◎種目

・トイドローン…運搬リレー、タイムアタック

・シミュレーター…タイムアタック　など



◎期間

年に４回大会を実施

各種目の優勝者から総合優勝者を年度末に決定

◎試合形式

リーグ戦

１０代、２０～３０代、４０代～の部に分かれそれぞれ優勝者を決定

この画像はＡＩで生成しています

②普段から練習できる工夫

◎トイドローンの常設

いつでもSEE SEA PARKで遊ぶことができる
ドローンの操作に慣れる

◎シミュレーターの設置

ドローンを実際に操縦しているような視点
細かい操作やテクニックの上達

練習⇒スキルアップ⇒大会で勝ちやすくなる

トイドローン等の常設



具体的な内容

- ✓ SEE SEA PARK内にトイドローンを常設
- ✓ 誰でも自由に遊べる
- ✓ 自由に飛ばせるスペースを確保し、安全な環境を整備

ドローンに
親しみを持つ

操作スキルが
身につく

幅広い世代が
楽しめる

この画像はAIで生成しています

シミュレーターの常設



具体的な内容

- ✓ SEE SEA PARK内にドローン操縦シミュレーターを設置
- ✓ 実践と同じような視点で練習できる
- ✓ 初心者から上級者までレベルに合わせたモード

正確な操作が身につく

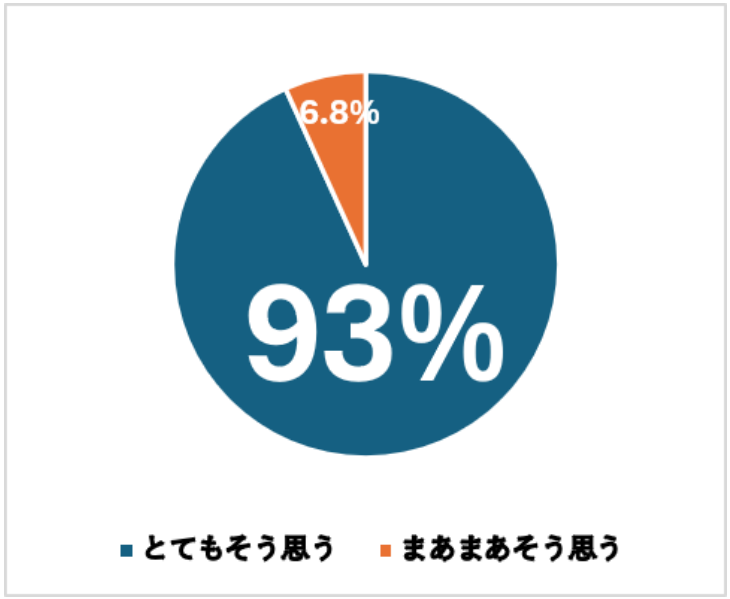
パフォーマンス向上

初心者でも安心

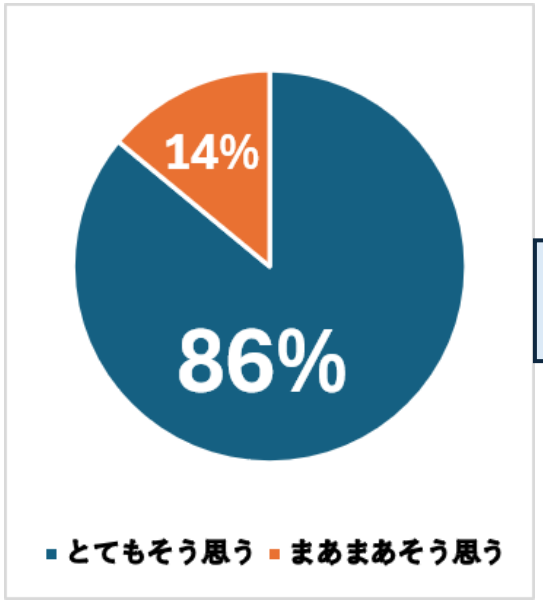
この画像はAIで生成しています

アンケート結果から見えた「ドローンの可能性」

〈トイドローン操縦をまたやりたいか〉



〈シミュレーターをまたやりたいか〉



満足度が高く、
リピート意向も強い

1度きりの体験ではなく、繰り返し訪れたくなるコンテンツが求められている！

だから、トイドローンを常設＆シミュレーター設置で
いつでも繰り返し練習できるように！

③SEE SEA PARKの賑わい創出

トイドローン、シミュレーターの常設
ドローンに興味を持つ

⇓

大会出場への動機
練習したい！大会で勝ちたい！

⇓

継続的な来訪
年間を通じた賑わいの創出

期待されるアウトカム

新たな来訪者の増加
ドローンに興味のある人が
訪れる

リピーターの増加
練習や大会への参加を目的に
繰り返し訪れる

施設内の回遊・消費の増加
来訪者がショップや飲食店を
利用する機会が増える

閑散期の集客
季節ごとの大会・イベントで
年間を通じた来訪機会

スケジュール

3か月に1回大会とイベントを開催

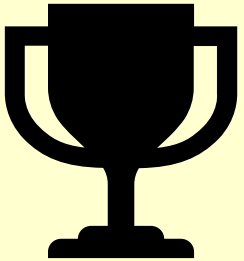
春　3月
大会＋イベント
春チャンピオン「名人選抜戦」

夏　6月
大会＋イベント
夏チャンピオン

秋　9月
大会＋イベント
秋チャンピオン

冬　12月
大会＋イベント
冬チャンピオン

年間総合王者決定戦



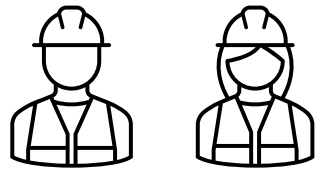
4つの季節の結果をもとに、冬に年間チャンピオンを決定!

実施体制

京都府立大学生や町内の方々の協力をもとに実施

学生：運営、イベント企画
わかさドローンクラブ：運営協力、地域とのつながり

☆スタッフによる運営、監視体制
☆ヘアゴムや帽子で髪の毛の巻き込みを防止
☆網でドローンの捕獲　など
安全対策もしっかり！



予算案

- シミュレーター約７万円×２つ
- シミュレーター用パソコン約３万円×３台
- トイドローン約６千円×３機
- 交通費約３万円×４回



約37万円　＋景品費等

今後の展望

おおい町の地域資源×ドローン

①うみんぴあエリアの回遊性向上
②おおい町ならではの体験づくり
③町外からも人が訪れる拠点へ

ドローンをきっかけに、SEE SEA PARKからおおい町全体へ賑わいを広げる



ご清聴ありがとう
ございました！